

令和4年度山梨県立身延高等学校 第3回学校運営協議会 報告

1 開催日 令和5年2月4日(土) 13:30~14:30

2 会場 山梨県立身延高等学校 輝葉館1階ホール

3 次第

(1) 開会

(2) 会長あいさつ

(3) 校長あいさつ

(4) 協議事項

〔1〕本日の総合学科発表会の感想

〔2〕今年度について

① 事業報告について

② 学校改善アンケートについて

③ 授業アンケートについて

〔3〕来年度について

① 学校経営方針について

② 重視すべき活動について

③ 来年度の委員について

(5) 連絡

(6) 閉会

4 出席者

〔委員〕 学校運営協議会会長 他7名 (1名は、公務のため欠席)

〔事務局〕 教頭 事務長 教務主任

【報告】

(1) 開会

山梨県立身延高等学校、第3回学校運営協議会を始めさせていただきます。

(2) 会長あいさつ (井上会長)

皆さんこんにちは。土曜日にもかかわらず、貴重な時間を本会議のために割っていただきありがとうございます。また、午前中の総合学科発表会からご参加をいただいている委員さん方も大勢いらっしやいまして、本当にありがとうございました。子供たちが伸び伸びと表現しようとする姿を見ることができて、私自身、とてもは楽しい2時間を過ごさせていただきました。本日の学校運営協議会が本年度最終となりますので、忌憚のないご意見を頂戴したいと思います。よろしくお願いいたします。

(3) 校長あいさつ

皆様、改めましてこんにちは。本日はご多用のところ、また週休日にもかかわらず、午前中の総合学科発表会から運営協議会までご参加・ご出席いただき、感謝申し上げます。

さて、総合学科発表会については、本校の教育活動の成果や本校生徒の生き生きとした姿を知ってもらうなど魅力発信の絶好の機会であると捉えております。同時に、その内容は総合学科高校としての本校の真価が問われる行事であると認識しております。新型コロナウイルス感染防止の面から、出席者を制限しての開催となりました。特に、中学生や保護者の皆様に見ていただくことができなかつたことを大変残念に思っております。中学生には、発表会の記録を編集し動画を作成して、昨年度と同様、中学校に送らせていただきますのでご活用いただければと思います。皆様には本日の発表会について、忌憚のないご意見やご感想をいただきたいと思っております。今後の教育活動にしっかりと生かして参りたいと考えております。また、今年度は本会が最後の学校運営協議会となります。これまでを振り返り、本校の教育活動についても率直なご意見、ご助言をいただければ幸いです。本校の現状をしっかりと見定め、課題と成果を明確にして、次年度へとつなげて参りたいと考えております。

結びに、今年度、学校運営協議会委員として本校のためにご支援、ご協力を賜りましたことに心より感謝申し上げます。今後とも、是非、本校の応援団としてお支えいただきますようお願い申し上げます。

(4) 協議事項

〔議長〕 それでは協議に入っていきたいと思っております。今日は主に3点の協議事項があります。

まず1点目の総合学科発表会について、忌憚のないご意見、ご感想を皆様方からいただきたいと思っております。

〔委員〕 昨年度は残念ながら実施されず、今年度もコロナ禍ために縮小された形での開催でしたが、久しぶりに文化会館で子供たちの頑張っている様子を見ることができて、本当によかったと思っております。南部中学校の卒業生も何名か発表したり、司会や放送機器の担当として活躍したりしていました。案内でも生徒たちが自分たちで運営する姿を見ることができました。また、学年が進むにしたがって発表のレベルが上がっていることから、身延高校のキャリア教育がしっかりと行われていることがよくわかりました。特に、最後に発表した久本さんは、自分の言葉であれだけ堂々と話すことができ、また、一昨年の演劇部の佐野さん、また、3、4年前の英語ですべてを発表した石原さんというように、3年間、身延高校で、子供たちが、プレゼンテーション能力や自分の言いたいことを伝える力を伸ばしている姿を見ることができて本当によかったと思っております。本校の生徒たちにも見せたいと思っておりますので、後日送っていただけるデータを活用させていただきたいと思っております。今日は本当にありがとうございました。

〔委員〕 本日、所用のため午前中の発表会に参加できませんでした。先ほどの校長先生のお話にありましたように、身延高校の真価が問われる行事ですので、いろいろなことを自分たちで行う自主性を養っていくことが大切であると思っております。また、その自主性は社会に出たときにとても大切になると思っておりますので、今後もこういう活動を積極的に行ってほしいと思っております。更に、身延高校を広く外部に知らせる機会にもなりますので、開かれた高校として今後も積極的に発表会を催していただければと思います。

〔委員〕 今日は素晴らしい発表を見せていただきました。発表をしてくださった生徒さんは、非常に素晴らしいということはよく分かりますが、私は、今日発表できなかった生徒さんも、

きっと一人一人が本校の総合学科で力をつけているということを確認しております。私は同窓会の代表ということでも参加させていただいております。同窓会の皆さんも今日のような発表を見てもらえれば、身延高校は立派にやっていることを確認していただけたと思います。同窓会の皆さんは当然身延高校を卒業しているわけですから、こういう発表を見て身延高校がしっかりやっつてることをわかってもらえれば、きっと自分の子供も孫も身延高校へ進学させたいという気持ちになるのではないかと思います。入学者が増えれば、同窓会も将来のことを心配に感じることはないと思います。今日の発表について、同窓会の理事会で先生方の方から話してくださると思いますが、私も少しお話させていただきたいと思っております。今日は本当にすばらしい発表を聞かせていただきましてありがとうございました。

〔委員〕本日の総合学科発表会は、先ほども委員の先生方がおっしゃられた通り、生徒が自分で運営して自分たちの発表の場を作るというすごくいい体験ができる行事だと感じました。また、生徒たちが大変礼儀正しく、私も同窓生として大変嬉しく思いました。発表の内容につきましては、決して大人が行うような発表ではありませんでしたが、特にプロレスラーの夢を持っている生徒さんは、すごくプロレスが好きだということを感じることができました。本当に若者らしい夢を発表できる機会であり、他の生徒たちが見て聞いて感じるということがすごくよかったのではないかと感じました。私事ですが、私の娘が今度中学校に入学する予定ですが、是非、こういった発表を見せてあげたい、聞かせてあげたいと思いました。先ほど同窓生にも見せたいというお話もあった通り、私も娘にこういったものを見せて、学校で学ぶということの意味を伝えたいと思いました。

〔委員〕初めて発表会に参加させていただきました。総合学科については、漠然としたイメージがありましたが、発表を聞き、個々の将来・進路や、夢に向けて取り組めるカリキュラムが編成されていると改めて感じました。3年次になり具体的に進路に向けて取り組むことが多いわけですが、1、2年次から計画的に準備ができる体制になっていると感じました。私は、総合学科の理解にも繋がりましたし、先ほど校長先生のお話にもありましたが、中学1年生や保護者の方に見てもらえば、身延高校の総合学科の理解に繋がるのだと思いました。また、発表のスライドですが、皆さん使いこなしており、ICTがかなり浸透しているということも感じました。

〔委員〕私も初めて参加させていただきました。まず初めに驚いたのが、来賓という形で受付に行きましたところ、生徒さんの挨拶や言葉遣いがとても丁寧で、一流のホテルで受付をしたような感じがしました。また、座席までご案内をしてくれるなど、丁寧な対応に驚きました。発表の方も、我々が身延高校の生徒だった時代と比べると、先ほどICTという話が出ましたが、一人一台端末が始まっていることもあり、生徒の皆さんが使いこなしているという状況にも驚きました。また、総合学科の内容についてももしっかり理解ができ、有意義な1日になったと感じております。

〔議長〕ありがとうございました。それぞれのお立場から、コメントをいただきました。本当に充実した時間を皆さんと共有できてよかったと思います。コロナが収まりましたら、情報発信の場としても活用しながら、中学生に直接メッセージを送れるとよいと感じました。以上で協議事項の1を終わります。続きまして、2の今年度についてお願いいたします。

〔事務局〕今年度の学校行事、学校改善アンケート、授業アンケートについて説明。

〔議長〕前後期の比較についても触れられましたが、前期が7月までの状態、後期が12月までの状態であり、5か月が経過をする中でどのような変化があったかということについても確認をいただきたいと思います。おそらくこの第3回の学校運営協議会終了後に、再度、委員の方からお声を寄せていただく機会があると思いますが、今の時点で、ご質問、ご感想、ご意見等ございましたらお願いしたいと思います。

〔委員〕教職員の方の改善シートの方ですけれども、一番大事なところは質問番号1の学校経営方針と教育目標の部分だと思います。職員間の理解を深めることが大事だと思いますが、前期の結果を受けて、学校側として何か取り組まれたことは具体的にございますか。

〔校長〕年度初めに方針を示し、職員会議を通して周知しておりますが、今年度赴任した職員だけではないのですが、個別の面談などの中で、意識的に話を行い、理解をしてもらうように努めてまいりました。

〔委員〕生徒のシートの25番の質問（図書館）のところが、数字が分かれていることが少し気になりました。高校での図書館活用について、どんなような状況になっているか教えていただければと思います。

〔事務局〕本校の図書館も非常に充実しておりますが、今年度か一人一台パソコンの使用により、授業の教室で、インターネットなどで調べることが増えてきており、図書館の活用について、どうしても伸び悩んでしまっていると思います。ただ、これは私見ですが、インターネットで調べたことは、それが正しいことであるかどうかは分かりませんので、文献にあたることは必要になってくるかと思えます。今後につきましては、そのような部分を含めて図書館の利用を考えていくのがよいと考えております。

〔事務局〕まず、使用率につきましては、ただ今話があった通りです。もう一点は、今日の発表会もありましたが、発表することを考えると、パワーポイント等で発表する機会が多くなってきておりますので、調べることと発表内容のつながりの点でパソコンの方が扱いやすいところがあると思います。

〔校長〕ここは私も課題だと思っており、司書とも話をした経緯もあります。図書館の特別展などを実施するなど、試行錯誤しながら取り組んでいます。活用頻度は、ICTの利用のため、事務局から話があった通りです。ただ、ちょうどこれから出る図書関係の便りの中で、私も触れているのですが、ネットでの情報は即時的に入ってくるけれども、先ほど事務局から話があった選別もそうですけれども、分かった気になってしまい、そこで考えることや思考することが伴わない知識になることが結構多いと思います。やはり、本から入ってくる思考が伴った蓄積された知識になっていくということについて、これから見直していくことや追加していくことが重要だということ、教職員はもちろん生徒にも話していきたいと思っております。

〔議長〕ありがとうございます。ICTが関係しているというお話もありましたが、身延高校では、普通教室、特別教室ともに常にインターネットに接続できる状態にはなっているのでしょうか。普通教室等でも十分インターネットを接続して、調べ学習等を進められる環境にあるということを含めてのご回答だったとご理解いただければと思います。

今、校長先生からありましたアナログかデジタルかということが、小中学校も含めておそらくこれから大きな課題になってくるのではないかと思います。今、デジタル教科書の導入について小中学校でも論議されています。おそらく併用することになりそうですが、今、校長先生のお話にあったように、ペーパーの方が子供たちの記憶に残るのではないかと議論もあり、これからの課題になるのではないかと考えています。また、そんなことも含めて図書館活用の在り方についてご検討いただければと思います。

〔委員〕生徒の改善シートで、学校経営の質問番号1、2、3を見ると、学校がすべての教育活動において一人一人の生徒を大切に作る姿勢で指導に当たってくれていることや、悩みや相談についても親身にに応じてくれること、プライバシーを守ってくれるということに対して、すごく評価が良くなっています。中学時代には心配だった生徒がいたり、中学校から校長先生に個別に相談された生徒もいたりしたと思いますが、高校生活の様子を見てみると、そのような心配があった生徒も頑張って高校生活を送っていたり、中学校時代よりしっかりしてきたということを感じることができます。まさに少人数教育というか、人数が少ないところを生かして子供たち一人一人を見つめて教育をしていただいていると思います。中学校でもこういった学校評価のようなことを生徒にアンケートをとっていますが、やはり一番気になるのが、事務局からの説明にあった11番の「学校へ行くのが楽しいと思える」という質問です。「あまりそう思わない」、「そう思わない」というところに少し多い生徒が答えている状況ですが、中学校でも同じような項目にやはり何人か当たる生徒がいて、その生徒が特定できるように、中学校ではハイパーQ Uという満足度について調査できるシートを使っています。その生徒については担任が声掛けをできるだけ多くしてどんなところに不満を持っているのかとか、自分の有用感を感じられていないのかということをおたづねしているところですが、身延高校の中で、学校が今あまり楽しくないと思っている生徒に対して、個別にどのような対策をとっているのかということについて教えていただきたいです。

〔校長〕非常に大きな課題であり、難しいところではあります。本校は中学校と同じような形での調査ができてはいませんが、その他の各種アンケート等々を見ながら、ある程度は特定できていると思っております。また、これがありがたいところですが、生徒の方からかなり相談があります。私が経験している学校の中では飛び抜けて相談があり、その窓口が開かれている状態で、個別の相談、或いは必要に応じてカウンセラーを要請して面談につなげていることを積極的に行っています。主に保健室が窓口になっていますが、担任、年次との共有についても、しっかりできていると思っております。結果的には、まだまだ、十分に繋がっていないところもありますが、地道に取り組んでいく必要があると思っております。

〔議長〕その他、いかがでしょうか。それでは、以上で協議事項2を終了したいと思います。後期になって、改善の方向が見いだされている中で、更なる改善がなされることを期待したいと思います。それでは、協議事項3の「来年度について」お願いします。①の学校経営方針及び②の重視すべき活動について、よろしくをお願いします。

〔校長〕資料にもありますが、今年度の活動を評価し、委員の皆様のご意見を生かしながら作成し、令和5年度の第1回学校運営協議会に提案し、ご審議をお願いする予定です。現在は、今年度をベースにすることを考えております。先ほどの学校改善アンケートにありましたが、

現有の教職員全員が肯定的な形でそこに向かっていこうとしていますので、年度が替わり若干の入れ替わりがあってもこれを維持していくことが良いのではないかと考えています。ただ、私は今年度で退任（定年退職）となりますので、来年度は新しい校長になります。したがって、新しい校長で新しい体制の中で今年度のものをどう生かしていくかというところもあると思いますので、来年度第1回目の学校運営協議会で提示させていただきながら進めていきたいと考えております。繰り返しになりますが、基本的には今年度の第1回目で提示した内容を継続しつつ、更に内容を濃くして取り組んでいくということで考えております。

続きまして、②の重視すべき活動についてですが、いくつか掲げてありますが、この他にもあります。生徒の活動の様子がわかる機会の設定については、先ほど総合学科発表会の感想等をいただいた中での話がここに関わることだと思います。生徒が頑張っている様子、身延高校生の生き生きとした姿を機会あるごとに見ていただくことを、来年度以降も数多く行い、いろいろな方法を使って外へ発信していくこともっともっとやっていかなければと思っています。本学校運営協議会においては、第2回で生徒との意見交換会を実施したところ、非常に評価をしていただきました。今日の総合学科発表会についても、先ほどのご意見にありましたように、中学生はもとより、同窓会、保護者の方々などできるだけ多くの方に見ていただき、身延高校の外からは見えない、今までは見えなかった部分として、こういうふうに生徒が頑張っていて、こういうふうに充実した取組が行われていることを理解していただく機会を提供していく、発信していくということを、来年度も積極的に行っていくべきだと思っています。それから2つ目は地域貢献、高大連携を通じてということに特化したような内容になっていますけれどもそれだけではありません。2番目にありますように地域とともにある学校ということを求める学校像として掲げておりますので、それを具現化するための一つとして、特にこの高大連携事業を継続して取り組んでおります。また、いろいろな形で広報をしていますが、ある意味ではその発足当時やその直後のところまで戻って発信力を強めていくことが必要だと考えています。先ほどのことと全く重なるわけですが、これも生徒が主体的に取り組んでいる活動ですので、そこに地域との関係も入ってくるという非常に内容の濃いものですので、しっかりと発信していきたいと考えております。それから保護者との関わりについても、もっともっと深めていく必要があると思います。行事などにも積極的に参加していただけるような機会を作っていきたいと思います。これは、若干言い訳にもなるかもしれませんが、ここ数年コロナの関係でいろいろなことがシャットアウトされてしまいました。おそらく来年度は、かなり開けてくれると思いますので、タイミングよくしっかりとらえて保護者との関係もオープンにしながらいろいろな環境を整えていきたいと思っています。それから最後の部分ですが、むしろこれを最初にもってきたいところでしたが、中高一貫教育事業と学校運営協議会、コミュニティ・スクールという他校にはない事業、コミュニティは数校ありますけれども中高一貫は本校だけですので、これにいろいろな力を注いでいろいろな方の協力を得ながら取り組んでいますので、充実させていきたいと思っています。地域とともにというところで、最近こんな言葉も使っておりますが、この地域に生まれ育った子供たちが学ぶ学校ということを掲げて、それを実現したいと思っています。そのためには、いろいろなことが必要になってきます。もちろん学校がいろいろな形で魅力

の発信をしたり、中学生はもちろん地域の子供たちとの関わりを持つ機会を持つようにしたりすることが必要です。もう一方で、そこに繋がるように中高一貫教育事業や学校運営協議会にご支援をしていただきたいと思います。来年度、このことも第1回目から話題になるのではないかと思います。身延高校が今現在、そして将来にわたって、何とかを超えていかなければならない、非常にハードルも高く、なかなか動く、動かない大きな問題でもあります。これを超えていかなければならないので、来年度以降も是非大きな力をいただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

〔議長〕ありがとうございました。①の学校経営方針並びに②の重視すべき活動について校長先生の方からお話をいただきましたけども、今の時点で何かご意見ございますか。

〔委員〕今、校長先生がおっしゃったことはすべて非常に大事なことだと思います。特に、生徒による地域貢献、高大連携について非常に大事なことだと思います。高大連携事業は、うまくいっており、身延高校の生徒の提案が身延町で採用されたこともあります。道の駅に春は桜が咲くという非常にいい提案をしてくれたと私は思います。今後も、是非、行政との関わりも一層深めていき、身延町と身延高校の双方がよくなるようにすることが大切だと思います。新しい校長先生の体制になっても、話し合いを持つなど、この事業は是非進めていただければと思っています。よろしくお願いいたします。

〔議長〕ありがとうございます。関連でもそうでなくても結構ですので何かありますか。

〔委員〕今、身延高校は非常に大事だという話がありましたが、南部中学校の生徒にとっても身延高校は本当になくってはならない学校だと思っています。今年度、南部中学校の生徒数もすごく減少してきている中ですが、中高連携が始まった最初のころに比べると、身延高校に進学を希望する生徒について、学校の中心として活動している生徒の割合が増えていると感じています。その理由は、今日も実はソフトテニス部が身延中学校のテニスコートで身延高校の生徒と合同練習をさせていただいているのですが、この中高連携の事業が、身延高校を身近に感じさせる、それからアシストで高校の先生方が授業に教えに来てくれたり、さらに12月にキャリアセミナーをやっていたりして、そういった事業を通して、身延高校が生徒の中に、保護者も含めて、以前よりも大分近い存在になってきていると思っています。是非、峡南地域で南部中学校は、中学の中では最南端のきらりと光る中学校を目指しているの、身延高校は高校の中で最南端のきらりと光る高校を目指してもらいたいと思っています。

〔議長〕ありがとうございます。地域連携と絡めて行政も含めた連携の強化、それから、中学校との連携といった視点で、連携をキーワードとするようなご意見をいただきましたが、高校の方で何かございますか。

〔校長〕先ほどの身延町との関わりということですが、私が在職した3年、直接お話をさせていただいた機会も持たせていただいております。町長さん及び教育長さんが、身延町の身延高校に対するサポートをしてくださっていることはご理解いただけたらと思います。また、私が言うことではないことかもしれませんが、私の立場からはサポートをいただいている、さらに高校からも積極的に関係を深めることをこれからもしていきたいと考えております。4月から新体制になりますが、方向性については、今の話も含めてしっかりしていきたいと思

っています。また、身延高校のことに関しては、中学校との関係も非常に良好な関係を作っ
ていただいております、さらに進めていきたいと思っております。それから、志願者やこれからの高校
の在り方については、県との関係もありますので、それについても具体的なことまではまだ
お話できませんけれども、私は責任持ってある程度の方向性をつけて、次年度、新しい校長
先生の体制につなげていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

〔議長〕ありがとうございました。それでは、以上で学校経営方針と遵守すべき活動については
終了させていただきます。最後に③の来年度の委員について事務局よりお願いいたします。

〔事務局〕③の来年度の委員について、お願いいたします。学校運営協議会の委員につきま
しては年度ごとの依頼となります。来年度の学校運営協議会の委員については、依頼につきま
して、3月に個別に私の方からお伺いさせていただきたいと思っております。委嘱について、
要綱の第6条の(1)から(9)によりお願いをさせていただくことになります。任期につき
ましては、再任は妨げないということですが、連続して5期を超えないものとなっております。
本校は今年で3年目が終了となりますので、引き続きご協力をいただけたらと考えてお
ります。

〔議長〕よろしいでしょうか。それでは、以上で準備された協議は終了しましたが、委員の皆さ
ん方から何かございましたらお願いします。よろしいでしょうか。

(5) 連絡

学校運営協議会については、本日の第3回をもって終了となりますが、来週、本年度の身
延高校の評価について、文書にてお願いをさせていただく予定です。年度末のご多用な時期
ではありますが、少しお時間をいただいて、身延高校について忌憚のないご意見等をいただ
ければと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

(6) 閉会

1年間どうもありがとうございました。以上をもちまして、第3回学校運営協議会を終了し
たいと思っております。ご協力ありがとうございました。